

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月3日

上場会社名 三井ホーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 1868 URL <http://www.mitsuihome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 良二

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画統括本部長 (氏名) 松本 賢二

TEL (03)3346-4411

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	150,270	—	△3,630	—	△3,864	—	△3,570	—
20年3月期第3四半期	155,774	0.7	△3,411	—	△3,524	—	△2,917	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△53.86	—
20年3月期第3四半期	△44.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	116,619	38,002	32.6	573.28
20年3月期	119,305	42,437	35.6	640.12

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 38,002百万円 20年3月期 42,437百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	△3.5	4,200	△16.1	4,000	△16.4	2,150	1.0	32.43

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 66,355,000株 20年3月期 66,355,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 65,886株 20年3月期 58,779株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 66,293,110株 20年3月期第3四半期 66,300,061株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月28日に公表いたしました連結業績予想ならびに個別業績予想を本資料において修正しております。詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報、および本日(平成21年2月3日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 業績予想につきましては、現時点における合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期(3か月)の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(3か月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	55,046	—	467	—	280	—	△260	—
20年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△3.93	—
20年3月期第3四半期	—	—

2. 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,000	△2.8	1,000	△45.6	2,600	6.9	2,200	34.0	33.19

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、米国に端を発した金融危機の影響を受け、株価が大幅に下落したことや、円相場が急騰したことなどから、企業収益の急激な悪化が確実となり、景気の後退が鮮明となりました。

住宅業界におきましては、経済情勢の大きな変化とともに、雇用や所得環境への長期的な不安が再燃し、住宅取得を手控える動きが強まるなど、受注環境は厳しい状況が続きました。

このような事業環境の中で、当社グループは、営業体制の効率化を一層進めたほか、インターネットの活用などによる営業情報の獲得、主に一次取得者層に向けたパッケージ商品の販売、営業対応力の強化など、受注量の確保に努めるとともに、原材料価格や輸送コストの上昇等を前提としたコストダウンを推進するなど、収益力の向上を図りました。

しかしながら、建築請負事業において、期首受注残高が前連結会計年度を下回っていたことや、当期の受注が減少したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、150,270百万円（前年同期比3.5%減）、経常損失3,864百万円（前年同期は3,524百万円の損失）、四半期純損失3,570百万円（前年同期は2,917百万円の損失）となりました。なお、営業体制の効率化のため、連結子会社等の解散を決議し、これに関連する費用を関係会社整理損として計上したことなどにより、特別損失1,222百万円を計上しております。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。なお、前連結会計年度末まで「その他の事業」に含めていました賃貸住宅の斡旋・管理に関する事業は、当該セグメントの重要性が高まったことにより、「賃貸管理事業」として区分し、表示しております。

<建築請負事業>

当社の事業用建築事業や三井ホームリモデリング㈱のリフォーム事業の減収などにより、売上高は、113,826百万円（前年同期比4.5%減）となりましたが、経費が減少したため、営業損失は、2,625百万円（前年同期は3,036百万円の損失）となりました。

<住宅部資材加工・販売事業>

主に三井デザインテック㈱のインテリア商品販売事業での増収などにより、売上高は、19,081百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は、797百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

<賃貸管理事業>

三井ホームエステート㈱の賃貸管理戸数が増加したことなどにより、売上高は、9,268百万円（前年同期比9.5%増）となりましたが、人員増に伴い経費が増加したため、営業利益は、332百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

<金融・リース事業>

三井ホームリンケージ㈱におきまして、主に当社の専用住宅事業における一次取得者層の土地つなぎ融資利用が増加したことなどにより、売上高は、1,441百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は、165百万円（前年同期比580.1%増）となりました。

<その他の事業>

当社の不動産分譲事業における減収により、売上高は、6,653百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益は、296百万円（前年同期比71.4%減）となりました。

※前年同期の金額及び前年同期増減率につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループでは、建築請負事業の売上高が第4四半期連結会計期間に偏ることから、相対的に第3四半期連結累計期間の売上高の通期の売上高に対する割合が低くなり、また第3四半期連結会計期間末の受注残高が前連結会計年度末より増加する傾向があります。このため工事代金の支払等により、現金及び現金同等物の第3四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末残高より減少します。当第3四半期連結会計期間におきましても、この傾向にあり、前連結会計年度末からの資産・負債の主な増減は次のとおりとなりました。

資産は、現金及び預金が4,930百万円、関係会社預け金が15,000百万円、それぞれ減少しました。一方、未成工事支出金が14,713百万円、土地つなぎ融資が堅調に推移したことに伴い営業立替金及び営業貸付金が2,814百万円、それぞれ増加しました。この結果、資産合計は2,686百万円減少の116,619百万円となりました。

また、負債では、未成工事受入金が7,841百万円増加しましたが、工事未払金などの仕入債務が3,644百万円減少したことから、負債合計は1,748百万円増加の78,617百万円となりました。

純資産合計は、四半期純損失の計上と配当の実施等により4,435百万円減少し、38,002百万円となりました。この結果、自己資本比率は32.6%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期後半からの急激な景気後退の影響を受け、建築請負事業において注文住宅やリフォームの受注が減少していることや、売上単価の減少が見込まれることから、売上高は当初想定を下回る見通しとなっております。さらに、不動産市況の悪化に伴い不動産分譲事業において収益が減少していることなどから、平成20年10月28日公表の通期連結業績予想ならびに個別業績予想につきましては、本日（平成21年2月3日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,392	6,323
受取手形及び売掛金	5,568	6,479
完成工事未収入金	1,994	3,545
有価証券	110	50
未成工事支出金	23,078	8,365
販売用不動産	7,046	5,418
仕掛販売用不動産	1,408	2,420
商品	1,596	987
製品	230	170
原材料	1,978	1,479
仕掛品	153	152
営業立替金及び営業貸付金	9,577	6,763
関係会社預け金	10,000	25,000
その他	9,893	6,320
貸倒引当金	△1,271	△146
流動資産合計	72,758	73,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,699	12,528
土地	12,566	12,606
その他（純額）	5,258	5,686
有形固定資産合計	29,524	30,821
無形固定資産		
その他	2,247	2,362
無形固定資産合計	2,247	2,362
投資その他の資産		
その他	12,269	13,002
貸倒引当金	△181	△212
投資その他の資産合計	12,087	12,789
固定資産合計	43,860	45,974
資産合計	116,619	119,305

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	15,069	18,671
買掛金	14,278	14,321
短期借入金	2,439	43
未払法人税等	243	1,330
未成工事受入金	21,383	13,541
完成工事補償引当金	1,438	1,688
その他	11,970	15,679
流動負債合計	66,822	65,276
固定負債		
退職給付引当金	8,008	7,734
役員退職慰労引当金	235	230
その他	3,549	3,627
固定負債合計	11,794	11,592
負債合計	78,617	76,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,900	13,900
資本剰余金	14,145	14,145
利益剰余金	24,333	28,974
自己株式	△38	△34
株主資本合計	52,341	56,986
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74	100
繰延ヘッジ損益	△61	△54
土地再評価差額金	△14,662	△14,672
為替換算調整勘定	309	78
評価・換算差額等合計	△14,339	△14,548
純資産合計	38,002	42,437
負債純資産合計	116,619	119,305

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	150,270
売上原価	117,155
売上総利益	33,114
販売費及び一般管理費	36,745
営業損失(△)	△3,630
営業外収益	
受取利息	63
保険配当金	59
その他	81
営業外収益合計	203
営業外費用	
支払利息	9
持分法による投資損失	57
為替差損	245
その他	124
営業外費用合計	436
経常損失(△)	△3,864
特別損失	
固定資産除却損	310
関係会社整理損	628
事務所移転費用	86
特別退職金	198
特別損失合計	1,222
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,087
法人税等	△1,517
四半期純損失(△)	△3,570

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	55,046
売上原価	42,579
売上総利益	12,466
販売費及び一般管理費	11,999
営業利益	467
営業外収益	
受取利息	17
持分法による投資利益	74
保険配当金	10
その他	44
営業外収益合計	147
営業外費用	
支払利息	2
為替差損	271
その他	58
営業外費用合計	333
経常利益	280
特別損失	
固定資産除却損	108
関係会社整理損	322
事務所移転費用	0
特別退職金	7
特別損失合計	438
税金等調整前四半期純損失(△)	△157
法人税等	102
四半期純損失(△)	△260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△5,087
減価償却費	3,681
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,103
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	297
受取利息及び受取配当金	△64
支払利息	9
売上債権の増減額 (△は増加)	2,515
営業立替金及び営業貸付金の増減額 (△は増加)	△2,814
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△14,837
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△790
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,179
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,542
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	7,968
その他	△3,231
小計	△15,972
利息及び配当金の受取額	69
利息の支払額	△10
法人税等の支払額	△1,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,742
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△175
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△407
その他	△275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11
配当金の支払額	△1,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,326
現金及び現金同等物の期首残高	31,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,986

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	建築請負 事業 (百万円)	住宅部資 材加工・ 販売事業 (百万円)	賃貸管理 事業 (百万円)	金融・リ ース事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	42,437	6,654	3,109	486	2,358	55,046	—	55,046
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21	10,509	46	311	707	11,596	(11,596)	—
計	42,459	17,163	3,155	798	3,065	66,642	(11,596)	55,046
営業利益	711	417	123	64	100	1,417	(950)	467

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	建築請負 事業 (百万円)	住宅部資 材加工・ 販売事業 (百万円)	賃貸管理 事業 (百万円)	金融・リ ース事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	113,826	19,081	9,268	1,441	6,653	150,270	—	150,270
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	58	26,208	92	1,089	2,127	29,576	(29,576)	—
計	113,884	45,289	9,360	2,530	8,781	179,847	(29,576)	150,270
営業利益（又は営業損失）	△2,625	797	332	165	296	△1,032	(2,598)	△3,630

(注) 事業区分の方法の変更

前連結会計年度まで「その他の事業」に含めていた賃貸住宅の斡旋・管理に関する事業は、当該セグメントの重要性が高まったことにより、第1四半期連結会計期間より「賃貸管理事業」として区分し、表示しております。この結果、従来の方法と比較して、「その他の事業」において当第3四半期連結累計期間の売上高が9,357百万円（うち外部顧客に対する売上高は9,268百万円）、営業利益が332百万円それぞれ減少し、「賃貸管理事業」において当第3四半期連結累計期間の売上高が9,360百万円（うち外部顧客に対する売上高は9,268百万円）、営業利益が332百万円それぞれ増加しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		
区分	金額 (百万円)		百分比 (%)
I 売上高		155,774	100.0
II 売上原価		121,378	77.9
売上総利益		34,395	22.1
III 販売費及び一般管理費		37,807	24.3
営業損失		3,411	△2.2
IV 営業外収益			
受取利息	61		
受取保険配当金	26		
為替差益	23		
貸倒引当金戻入益	27		
その他の営業外収益	73	212	0.1
V 営業外費用			
支払利息	35		
持分法による投資損失	175		
その他の営業外費用	113	325	0.2
経常損失		3,524	△2.3
VI 特別損失			
固定資産除却損	389		
固定資産売却損	5		
子会社整理損	325		
事務所移転費用	195		
過年度消費税等	34	950	0.6
税金等調整前四半期純損失		4,474	△2.9
法人税等		△1,557	△1.0
四半期純損失		2,917	△1.9

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	建築請負 事業 (百万円)	住宅部資 材加工・ 販売事業 (百万円)	金融・リ ース事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	119,240	17,851	1,292	17,390	155,774	—	155,774
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	39	26,097	1,098	2,154	29,390	(29,390)	—
計	119,280	43,948	2,390	19,544	185,164	(29,390)	155,774
営業費用	122,317	43,281	2,366	18,037	186,003	(26,816)	159,186
営業利益（又は営業損失）	△3,036	667	24	1,507	△838	(2,573)	△3,411

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における建築請負事業の受注状況を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
建築請負事業	128,579	△6.4	117,959	△8.5

(2) 売上実績

当第3四半期連結累計期間における売上実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
建築請負事業	113,826	△4.5
住宅部資材加工・販売事業	19,081	+6.9
賃貸管理事業	9,268	+9.5
金融・リース事業	1,441	+11.5
その他の事業	6,653	△25.5
合計	150,270	△3.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当社グループ（当社及び連結子会社）では主に建築請負事業が受注生産を行っております。

3. (1)受注状況の「受注高」は、期中受注工事高を表示しております。

4. 当社グループ（当社及び連結子会社）では生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

5. 前第3四半期連結累計期間、当第3四半期連結累計期間のいずれにおいても売上高総額に対する割合が100分の10以上の相手先はありません。

6. 上記金額には消費税及び地方消費税は含まれておりません。

なお、以下の参考情報においても同様であります。

(参考) 当社単独の事業の状況は次のとおりであります。

受注工事高、売上高及び期末受注残高の状況

a. 受注工事高

		前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		棟数	金額 (百万円)	棟数	金額 (百万円)	棟数	金額 (百万円)
建築請負	注文住宅	2,747	103,416	2,677	97,286	3,841	141,155
	建売請負	85	2,460	93	2,844	107	3,278
	計	2,832	105,877	2,770	100,131	3,948	144,433
不動産分譲		35	7,772	33	3,972	48	10,468
F C 事業		658	—	625	—	980	—
合計		3,525	113,650	3,428	104,103	4,976	154,902

(注) 1. 不動産分譲は、期中契約高を記載しております。

2. 平成20年9月に解散した、いわて中央ホーム㈱及び東九州ホーム㈱の解散時における未引渡受注残について、当社にて施工の引受けを行っております。当第3四半期累計期間の「注文住宅」には、当該受注残の受注工事高2,024百万円（60棟）を含めて記載しております。

3. 平成19年9月に解散した、三井ホーム栃木㈱及び三井ホーム福島㈱の解散時における未引渡受注残について、当社にて施工の引受けを行っております。前第3四半期累計期間及び前事業年度の「注文住宅」には、当該受注残の受注工事高2,764百万円（86棟）を含めて記載しております。

b. 売上高

		前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		棟数	金額 (百万円)	棟数	金額 (百万円)	棟数	金額 (百万円)
完成工事高	注文住宅	2,188	82,572	2,291	82,204	3,809	143,728
	建売請負	113	2,855	59	2,223	169	4,160
	計	2,301	85,427	2,350	84,428	3,978	147,888
その他 売上高	不動産分譲	27	7,462	26	4,740	47	10,057
	F C事業	710	1,228	720	1,220	1,118	1,867
	その他	—	1,191	—	1,114	—	1,732
	計	737	9,882	746	7,076	1,165	13,657
合計		3,038	95,309	3,096	91,505	5,143	161,545

受注工事高及び完成工事高の季節的変動について

建築請負の受注工事高及び完成工事高について、第3四半期累計期間の1年通期に占める割合は次のとおりであります。なお、完成工事高については、工事の完成が第4四半期会計期間に集中するため、最近3年間を見ましても次のように第3四半期累計期間は年間の概ね60%と季節的に変動するのが常となっております。

期別	受注工事高			完成工事高		
	1年通期 (百万円) (A)	第3四半期 累計期間 (百万円) (B)	(B)／(A) (%)	1年通期 (百万円) (C)	第3四半期 累計期間 (百万円) (D)	(D)／(C) (%)
平成18年3月期	153,141	110,888	72.4	147,828	87,492	59.2
平成19年3月期	148,015	108,153	73.1	150,148	90,685	60.4
平成20年3月期	144,433	105,877	73.3	147,888	85,427	57.8
平成21年3月期	—	100,131	—	—	84,428	—

- (注) 1. 平成20年9月に解散した、いわて中央ホーム㈱及び東九州ホーム㈱の解散時における未引渡受注残について、当社にて施工の引受けを行っております。平成21年3月期の第3四半期累計期間の「受注工事高」には、当該受注残の受注工事高2,024百万円を含めて記載しております。
2. 平成19年9月に解散した、三井ホーム栃木㈱及び三井ホーム福島㈱の解散時における未引渡受注残について、当社にて施工の引受けを行っております。平成20年3月期の1年通期及び第3四半期累計期間の「受注工事高」には、当該受注残の受注工事高2,764百万円を含めて記載しております。

c. 期末受注残高

		前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		棟数	金額 (百万円)	棟数	金額 (百万円)	棟数	金額 (百万円)
建築請負	注文住宅	3,028	113,459	2,887	105,123	2,501	90,042
	建売請負	77	1,431	77	1,565	43	944
	計	3,105	114,890	2,964	106,688	2,544	90,986
不動産分譲		11	1,452	11	785	4	1,553
F C事業		823	—	642	—	737	—
合計		3,939	116,343	3,617	107,474	3,285	92,539

(注) 不動産分譲は、期末契約残高を記載しております。

以 上